

3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
家計 動向 関連	良く なっている	-	-	-	
	やや良く なっている	百貨店（販売促進担当）	販売量の動き		・猛暑の影響で、夏物処分が好調である。中元ギフトも予想を上回り、消費は多少回復傾向にある。
		スーパー（店長）	来客数の動き		・来客数が対前年比で110%以上、売上は同107%となっており、この状況は続く。
		スーパー（経営企画担当）	来客数の動き		・8月は天候に恵まれ、盆の商戦も好調で、来客数が対前年比で103%、売上は同102%となっている。特に、ビール等の夏物商品が非常に売れている。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き		・来客数が上向きの状況で、単価も前年並みの水準に戻ってきてた結果、3か月前と比べて、売上は110.6%となっている。たばこや日用品の品ぞろえを充実させた効果である。
		家電量販店（店長）	単価の動き		・来客数に動きはないが、単価が上昇している。プラズマテレビ、マイナスイオン機能付きのエアコンや洗濯機など、付加価値のある単価の高い商品が売れている。
		自動車備品販売店（経営者）	来客数の動き		・暑さや季節の影響もあり、エアコンの整備、車の修理などにより、3か月前と比較し、修理量、販売量がやや増加している。
		一般レストラン（経営者）	単価の動き		・夏休みに入り、例年に比べ、県外からの来客数が多くなり、夏休みに入ったことで増加し、単価もやや上向きで、売上が増加している。
		タクシー（経営者）	お客様の様子		・前年同月比で、売上が少し増加しているので、やや良くなっている。
		通信会社（社員）	販売量の動き		・新規加入数があまり伸びておらず、第3世代携帯の販売は不振であるが、月間目標はクリアできそうである。
	変わらない	商店街（代表者）	来客数の動き		・特にイベント等がない限り、客は商店街には立ち寄りず、土日の来客数が極端に減少している。客の足は、やはり大型店の方に向いている。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子		・大手食品メーカー、農薬の問題等があり、消費者は食品に対して不信の目を向けている。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	単価の動き		・単価は下落しているが、人件費は低下しない。現状の人件費では、仕事があっても、とても雇用はできない。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き		・7月には2度の台風で低迷していた夏物衣料の販売は、8月に入り、気温が高く好調である。ただし、3か月間を通じて判断すると、消費動向は一進一退で、顕著な変化はみられない。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き		・昨年と比べて残暑が厳しく、秋物、特に衣料品関係の動きが鈍い。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き		・夏が暑いほど売上が上がるが、今年は暑い割には、海水浴、レジャー客が多くない。盆明けの来客数は増加しているが、買上点数はそれほど伸びない。
コンビニ（店長）		販売量の動き		・来客数が極端に減少しているわけではないが、客単価が大幅に低下している。	
乗用車販売店（従業員）	単価の動き		・主要な販売車種は、低価格車と軽自動車になっている。販売台数も伸びない。		
その他専門店〔携帯電話〕（店長）	単価の動き		・携帯電話業界においては、定価0円の状況が当たり前になってきている。		
高級レストラン（店長）	来客数の動き		・客は、盆休みや祭などの特別なイベントに集中し、その他の日は依然として伸び悩んでいる。		
一般レストラン（経営者）	来客数の動き		・3か月前と比べ、来客数、客の様子に変化はない。		
都市型ホテル（スタッフ）	お客様の様子		・客単価が低いことに加え、金払いが悪くなっており、悪い状況が続いている。		
都市型ホテル（スタッフ）	お客様の様子		・月初めの宿泊予約が、対前年比で2割近く減少しており、月半ば、後半に入っても、増加傾向はみられない。		
旅行代理店（従業員）	販売量の動き		・例年は8月中旬から始まる秋の団体旅行の予約が、今年はまだほとんど入っていない。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		旅行代理店(従業員)	お客様の様子	・乗客数に動きは出ているが、単価は非常に低くなっている。
		タクシー運転手	販売量の動き	・医療費の上昇、公務員の賃金カットなどの実施により、客はタクシーに乗るどころではない。
		観光名所(職員)	お客様の様子	・例年と比べ、観光客がやや減っており、レストラン、ホテル等の客も若干減少している。
		競輪場(職員)	競争相手の様子	・競合他社では入場者数、購買単価が低下しているが、当社ではそれほど変化がない。
		その他サービス[自動車整備業](経営者)	お客様の様子	・廃業する会社が目立つようになっている。集金をしても、なかなか支払いってもらえない。
		設計事務所(所長)	お客様の様子	・仕事の問い合わせも少なく、この数か月間変化はない。
		設計事務所(所長)	競争相手の様子	・個人住宅の設計依頼が、更に減少している。
	やや悪くなっている	商店街(代表者)	お客様の様子	・特売品への反応がなく、客は、黒や白の無難な色で低単価の商品のみに興味を示している。
		商店街(代表者)	来客数の動き	・学生相手の商売なので、夏休みの来客数は本当に少なく、売上が減少している。
		スーパー(統括)	それ以外	・牛肉偽装、中国産ほうれん草の農薬残留問題、鰻の水銀問題、大手食品メーカーの事件等、食品の安全性に関わる問題が、消費意欲の大幅な減退ムードを作り出している。
		スーパー(副店長)	販売量の動き	・今年の益商戦は、当初よりギフトの売上が伸び悩み、前年を大きく下回っている。 ・精肉は新たな食品偽装事件やO157等の報道で、この時期に売る必要のある商品を販売できない厳しい状況にある。
		コンビニ(経営者)	単価の動き	・客は、必要な物、安い物を求めて来店しており、客単価が低下している。
		コンビニ(店長)	来客数の動き	・県道バイパス道路の完成で、街中に進入する車が減少し、来客数に大きく影響しており、特に深夜の客が減少している。盆踊り等の人出も少ない。
		コンビニ(店長)	単価の動き	・納豆を例にあげると、今までの売れ筋は50gの2個入り108円であったが、8月は、100g1個で48円の商品がトップとなっている。客は、1000円で何食分も食べられると話している。 ・来客数、売上も、ともに前年比で90%となっている。
		スナック(経営者)	来客数の動き	・固定客の動きは良いが、フリー客の入りが一つである。涼しい日が続いた時は、ビアガーデンの客が流れて来たが、全体的には低調で、悪い状況が続いている。
		都市型ホテル(スタッフ)	来客数の動き	・レストラン、集会、宴会の来客数が減少している。
		タクシー運転手	お客様の様子	・12時半の最終電車の後、深夜2時頃まで営業しているが、1度客が取れる程度で、収入が減少している。
		住宅販売会社(経営者)	単価の動き	・路線価が7年連続で下落しており、実勢価格に大きな影響が出ている。今までの地価分布が完全に崩れ、極端に安い土地が売り出され、売れ残りの分譲地が更に売りにくくなっている。倒産、破産などによる競売物件にも影響がある。
	悪くなっている	一般小売店[衣料](経営者)	販売量の動き	・学生関係の商品を取り扱っているもので、例年、夏休み、盆の間は動きが少ない。21日以降は、小中学校の2学期が始まり、多少の動きが出てきたが、完全に必需品のみの購入となっている。
		一般小売店[金物](経営者)	お客様の様子	・7月に国道バイパスが全面開通したため、旧市街地の商店街の通行量が明らかに減少している。特に日曜日は、バイパスの大型店に客が集中し、商店街は閑散としている。
		スナック(経営者)	来客数の動き	・来客数が極端に減少しており、悪くなっている。
		観光型ホテル(経営者)	単価の動き	・8月の夏休み中の来客数はほぼ前年並みであるが、売店等の消費が極端に落ち込み、売上が減少している。
		タクシー運転手	来客数の動き	・選挙の影響もあり、稼げるはずの金曜日の夜の客は、驚くほど減少している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
企業 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	食料品製造業 (営業統括)	受注価格や販売 価格の動き	・例年は夏枯れで、受注は大幅に減少するが、依然として低価格品が主流ではあるものの、販売数量は確保できている。 ・新社屋のオープン以降、来客数及び教室入校者数が徐々に増加傾向にある。
		窯業・土石製品 製造業(経営 者)	それ以外	
	変わらない	化学工業(総務 担当)	受注量や販売量 の動き	・扱う商品によって、受注量の増減はまちまちである。平均すると、売上はあまり変わらない。
		金属製品製造業 (経営者)	それ以外	・8、9月は親工場が期末なので、残業がかなりあるが、例年の通常月と変わらない程度の忙しさである。
		電気機械器具製 造業(経営者)	取引先の様子	・取引先の手持ち受注量が減少しており、新規受注物件は非常に少ない。互いにたたき合いの価格競争をしている。
		精密機械器具製 造業(経営者)	受注価格や販売 価格の動き	・コストダウンの要求が厳しくなっている。
		その他製造業 [宝石・貴金 属](経営者)	取引先の様子	・ジュエリー展示会の来場者数は、前回より4割増加しているが、販売額は横ばいである。各取引先は、新しい商材を求めているが、仕入の踏ん切りがつかない。
		輸送業(営業担 当)	取引先の様子	・納品数量、配送量は、大型店、コンビニでは増加しているが、個人商店では減少しており、総じて現状維持である。
		新聞販売店[広 告](総務担 当)	取引先の様子	・チラシの投稿量は、17か月連続で前年実績を下回っている。 ・大手スーパーなど量販店から、売れ筋はクーラー等の特定の商品のみで、売上は伸びていないと聞いている。婦人服店では、流行に乗った商品が爆発的に売れ、その他の商品の売上をカバーできたとの話である。
	その他サービス 業[情報サー ビス](経営者)	受注価格や販売 価格の動き	・上期の締めが近付き、細かな物件を含めた受注量が増加している。ただし、季節的要素も多く、総じて変わらない。	
	やや悪く なっている	輸送用機械器具 製造業(総務担 当)	受注量や販売量 の動き	・生産調整の夏休みも影響しているものの、売上は前月比で約30~40%、対前年比では約20%の減少となっており、やや悪くなっている。
		金融業(経営企 画担当)	取引先の様子	・地元で建設関係の大型倒産が発生し、関連業者への影響も大きいので、不安感がある。 ・旅館、民宿関係の予約状況、観光客の出足は例年並みであるが、売上は厳しくなっている。
	悪く なっている	電気機械器具製 造業(経営者)	受注量や販売量 の動き	・6月には最悪であった受注は、7月にやや上向いたが、8月にはまた落ち込んでいる。赤字がかなり増加しており、どうしようもない。
不動産業(経営 者)		受注価格や販売 価格の動き	・同じ受注価格でも、より多くのサービスを求められるなど、条件が厳しくなっている。	
広告代理店(営 業担当)		受注価格や販売 価格の動き	・正社員募集は減少しているが、その分アルバイト等の求人が増加している。求人広告の掲載件数は、ほぼ横ばいであるが、掲載料金の競争が激しいために、受注額が2割の減少となっている。	
司法書士		受注量や販売量 の動き	・8月は、例年落ち込む時期であるが、今年は特に落ち込みが激しい。	
雇用 関連	良く なっている			
	やや良く なっている	人材派遣会社 (経営者)	求人数の動き	・派遣実績のない企業からの新規依頼により、全体の依頼数はやや増加している。既存の派遣先は現状維持か減少傾向にあるため、力強さには欠けるが、全体としてやや良くなっている。依頼内容としては、単純な入力作業や一般事務職はほとんどなく、かなりの経験を積んだ専門職等の要望が多い。
求人情報誌製作 会社(経営者)		求人数の動き	・来春、商圏内のインター近くにアウトレットモールの進出が決定している。これに伴い、求人との問い合わせ、広告が出始め、8月後半以降には求人数が増加してきている。近隣地区にも、大手スーパー、ホームセンターの進出予定があるので、やや良くなっている。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	採用者数の動き	・求人数は、3か月前とほぼ同じである。求職者については、何人かが採用待ちの状態、状況は変わらない。
		求人情報誌製作会社（経営者）	周辺企業の様子	・周辺の製造業で、従業員を10～20人解雇した所がある。 ・従業員10人前後の企業が廃業し、社員とパートは全員解雇されており、深刻な状況は続いている。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・新規求職申込数は、前年比で約5割も増加している。管内のリストラされた求職者や、隣接する職安の求職者からの相談も増加しており、厳しい状況は変わらない。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・アウトソーシング企業からの求人の増加により、求人倍率に若干の改善がみられる。直接雇用では、非正規従業員の募集が、依然として増加傾向にある。
		職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・求人数は、サービス業や飲食店などを中心に増加傾向にあるが、製造業を中心とした大規模な人員整理が依然として続いている。製造業では、スポット的な受注に、請負業者や臨時パート等に対応し、正社員は採用していない。各企業は事業存続をかけて、固定費の削減を行っており、雇用環境は安定していない。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・求職者数は約20%減少しているが、求人数は横ばいである。
		民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・製造業では、液晶などの一部業種企業が好調であるが、底上げにはならず、サービス業では大きな落ち込みがないものの、依然として厳しい。固有の技術、ノウハウを持つ企業が、わずかに活況を呈している。
	やや悪くなっている	学校 [短期大学]（就職担当）	求人数の動き	・8月に2回開催された来春卒業予定者対象の合同求人説明会において、参加企業、求人数は対前年比で70%程度となっている。募集職種は、機械、情報、介護などの専門職が大半で、多くの学生が希望する事務職は、対前年比で30%程度である。
	悪くなっている			